

# 東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年7月 東臼杵農林振興局  
(東臼杵南部農業改良普及センター)



東臼杵南部農業改良普及センター  
ホームページ

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2、3)
  - 1 【美郷町】 水稻新品種「ひなた舞」の現地検討会で意見交換
  - 2 【美郷町】 令和7年度美郷町ゆず部会総会が開催
  - 3 【日向市】 へべすの病害虫防除・収穫等の管理技術を指導
  - 4 【日向市・門川町】 JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会露地へべす出荷目揃え会が開催
  - 5 【日向市】 令和8年度千切大根栽培講習会で栽培指導
- II 主な普及指導活動等の取組
  - 1 地域プランに基づく普及活動 (P 3～5)
    - 1 【日向市・門川町・美郷町】 冬春ミニトマト専門部会通常総会が開催 (施策2:園芸産地の確立)
    - 2 【日向市・美郷町】 施設胡瓜専門部会の研修会・通常総会及び新規就農者研修閉講式が開催 (施策2:園芸産地の確立)
    - 3 【日向市】 児湯地域との連携により新規就農支援を実施 (施策2:園芸産地の確立)
    - 4 【日向市・椎葉村】 担い手担当者会を開催 (施策2:園芸産地の確立)
    - 5 【美郷町】 就農希望者及び新規就農者への個別支援を実施 (施策2:園芸産地の確立)
    - 6 【全域】 二十四節気研修会の開催 (施策2:園芸産地の確立)
    - 7 【全域】 農業者研修「ベーシック研修」の開催 (施策2:園芸産地の確立)
    - 8 【美郷町】 美郷町さいごう完熟金柑部会が個別面談を実施 (施策3:果樹の産地体制づくり)
    - 9 【美郷町・日向市】 美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施 (施策3:果樹の産地体制づくり)
    - 10 【門川町・美郷町】 牛舎暑熱対策状況の確認巡回を実施 (施策4:肉用牛産地の維持)
    - 11 【日向市】 肉用牛繁殖経営体の事業承継に関する専門家相談会の開催 (施策4:肉用牛産地の維持)
  - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P 5～7)
    - 1 【日向市】 農福連携によるへべす収穫現地検討会を実施
    - 2 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】 スイートピー種子冷蔵講習会が開催
    - 3 【美郷町】 令和7年度美郷町栗部会総会が開催
    - 4 【管外】 くり生産者全体研修会に管内の生産者が参加
    - 5 【美郷町・諸塚村】 ほおずき栽培講習会が開催
    - 6 【日向市・美郷町】 シキミ部会合同役員会の開催
    - 7 【日向市・諸塚村・美郷町】 ほおずきの8月出荷目揃え会が開催
    - 8 【椎葉村】 夏秋ミニトマト全戸巡回で高温期の管理を確認
    - 9 【椎葉村】 ほうれんそう専門部交流会

# I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

## 1 【美郷町】 水稻新品種「ひなた舞」の現地検討会で意見交換

16日、美郷町西郷で生産者16名、関係者5名が参加し、高温に強い水稻新品種「ひなた舞」の現地検討会が開催されました。

初めにJAおよび普及センターから「ひなた舞」の品種特性並びに前年の試験結果について説明した後、栽培ほ場へ移動して実際の生育栽培状況を確認しながら意見交換を行いました。

生産者からは、「草姿が良い」等の感想が聞かれ、新品種の導入に対して前向きな意向が感じられました。



【熱心に研修を受ける生産者】

## 2 【美郷町】 令和7年度美郷町ゆず部会総会が開催

2日、JA美郷南郷支店で、生産者7名、関係者8名が出席し、美郷町ゆず部会総会が開催されました。活動内容の協議では、活発な意見交換が行われ、今年度は重点的に「出荷時の選別の徹底」に取り組むことになりました。

総会后、普及センターから今年産のゆずの生育状況や病害虫の発生状況について、気象状況等を交えて要因と対策等を説明しました。具体的な症状と要因の提示により、生産者の理解を深めることができました。



【ゆず部会総会】

## 3 【日向市】 へべすの病害虫防除・収穫等の管理技術を指導

23日に日向市内の露地へべす園地で、生産者延べ35名、関係者2名が参加し、支部別講習会が開催されました。

講習会では、JAから収穫や病害虫防除等の時期的管理に関する説明が行われました。

普及センターからは、開花時期以降の気象状況や病害虫の発生状況に合わせた管理等について、補足説明を行いました。

部会アドバイザーである生産者からは、篤農家の視点で夏芽除去やかいよう病防除の徹底等の助言が行われました。



【露地へべす支部別講習会】

## 4 【日向市・門川町】 JAみやざき日向地区本部平兵衛酢部会露地へべす出荷目揃え会が開催

24日にJA日向地区本部で生産者35名、関係者6名が参加し、出荷目揃え会が開催されました。

今年の満開時期は昨年よりも1週間から10日程度早く生育が進んでいます。

今回の目揃え会を通じて青果出荷の割合を高めると共に、梅雨の長雨による防除遅れの対応として収穫までの防除の徹底の啓発により、所得向上を支援していきます。



【露地へべす出荷目揃え会】

## 5 【日向市】令和8年度千切大根栽培講習会で栽培指導

13日、JA美々津支店で生産者20名、関係者3名が出席し、令和8年度千切り大根栽培講習会が開催されました。

はじめに、JAから販売情勢の報告、管理記録簿の記録の徹底、及び、昨年度発生した黒斑細菌病について説明がされました。

普及センターからは、高温時に発生が懸念される空洞症状の対策と防除について説明を行いました。生産者からは高温に強い品種について質問が出されました。



【千切大根栽培講習会】

## II 主な普及指導活動等の取組

### 1 地域プランに基づく普及活動

#### 1 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマト専門部会通常総会が開催

7日、JA日向地区本部で生産者21名と関係者28名が出席し、冬春ミニトマト専門部会通常総会が開催されました。

R8年産は、収量903t（前年対比114%）、金額54,687万円（117%）、単価605円（102%）となりました。作後半の曇雨天の影響で収量減はありましたが、10月から4月は天候にも恵まれ、高収量となりました。

総会終了後、普及センターから防除暦の説明と重点課題としている定植前後の病害虫の徹底防除と農薬の適正使用に関する啓発を行いました。

また、普及センターで作成した生育診断シートの活用方法について、生産者自身で生育診断に取り組むことで収量アップに繋がることを説明しました。



【冬春ミニトマト専門部会総会】

#### 2 【日向市・美郷町】施設胡瓜専門部会の研修会・通常総会及び新規就農者研修閉講式が開催

22日、JA日向地区本部で生産者8名と関係者13名が出席し、JAみやざき日向地区本部施設胡瓜専門部会研修会及び通常総会、新規就農者研修閉講式が開催されました。

はじめに、総合農試の専門技術センターから土壌肥料の専門技術員を講師に招き、施肥管理について研修が行われ、きゅうりの養分吸収について、生産者自身で実施できる簡易土壌診断の方法について学びました。

また、総会に先立ち行われた研修閉講式では、JA地区本部長から研修生への修了証書が授与され、部会長から「人との繋がりを大切に。自分にあった経営を目指してください」と激励もあり、研修生からお礼の言葉と今後の抱負が語られました。

総会では、JAみやざき本店から情勢報告がなされ、議事では事業実績及び事業計画が滞りなく承認されました。部会長からは「資材や重油の高騰に負けず、来作も安定収量と品質を目指していきましょう」と呼びかけがありました。

普及センターからは、重点取組である定植前から定植時にかけて行う重要病害虫の防除の徹底について啓発を図りました。



【施設胡瓜専門部会研修会】



### 3 【日向市】 児湯地域との連携により新規就農支援を実施

2日、JA美々津支店で、日向市のきゅうり研修生の、都農町の農地での就農に向け、都農町や関係普及センターなど10名が出席して、就農検討会を開催しました。

会では、就農計画や収支計画を確認するとともに、今後の広域的な支援体制について協議しました。

今後も関係者で連携し、新規就農者の円滑な就農と定着を支援していきます。

### 4 【日向市・椎葉村】 担い手担当者会を開催

10日に椎葉村役場、23日に日向市役所で、それぞれの地域の関係者が出席し、担い手担当者会を開催しました。

会では、担い手確保に向けた就農モデル作成について、市・村の推進品目を中心に協議し、椎葉村では、新規就農者の支援方針や就農状況についても情報共有を行いました。

今後も定期的に担当者会を開催し、情報共有を図るとともに、関係者が連携して担い手の確保・育成に取り組めます。

### 5 【美郷町】 就農希望者及び新規就農者への個別支援を実施

7月は、美郷町役場で3名の就農検討会と2名の就農計画作成支援を実施し、関係者と連携して対応しました。

就農検討会では、果樹や花きの栽培技術の習得に取り組む新規就農者や研修生と面談し、今後の方向性や研修計画について確認しました。

就農計画作成が初めての対象者に対し、計画の作成方法や各種補助事業について説明し、今後の進め方を共有しました。

今後も関係者と連携し、円滑な就農と定着に向けて伴走支援を行います。

### 6 【全域】 二十四節気研修会の開催

1日、普及センターで、農業者8名、関係者9名が出席し、オンラインで二十四節気に関する研修会を開催しました。

二十四節気は、古くから気象傾向に基づく農作業の目安として活用されてきました。

現在でもその傾向は変わらないため、生産性を保つには季節に応じた事前準備を行うことが不可欠です。

研修後のアンケートでは「2月の除草がとても効果的なことがわかった」などの回答があり、受講者にとって、先人の知恵を積極的に活用し、計画的に農作業に取り組むことの大切さを理解するよい機会となりました。



【二十四節気研修会】

### 7 【全域】 農業者研修「ベーシック研修」の開催

7月から8月にかけて、普及センターで「宮崎方式営農支援体制農業者研修『ベーシック研修（オンライン）』」（全11回）を開催しています。

今月は、9日の「就農ガイダンス」を皮切りに、10日「農作業安全」、14日「農業と気象」、24日「土壌肥料」の4回を実施し、延べ26名が参加しました。

多岐にわたるカリキュラムから必要な基礎知識を学んでいただき、農業経営者の技術やスキル向上に繋がるよう、普及センターでは引き続きしっかりと支援を続けていきます。



【農作業安全研修】

## 8 【美郷町】美郷町さいごう完熟金柑部会が個別面談を実施

15日、16日に、美郷町役場で美郷町さいごう完熟金柑部会員31名を対象とした個別面談を関係者と実施しました。

先月の総会で承認された「産地（部会・関係者）一体となった経営承継支援体制」に基づき、今後の経営承継を中心に聞き取りを行いました。

今後は、面談結果を分析した上で、部会役員、関係者と連携しながら産地一体となった経営承継を推進していきます。



【金柑部会個別面談】

## 9 【美郷町・日向市】美郷町さいごう完熟金柑部会の園地巡回を実施

27日と30日に、関係者5名が参加し、部会員全戸の個別巡回を行いました。

生産者には園地の生育とこれまでの管理を確認し、状況に応じて今後の管理について説明を行いました。

生育が早い園地では1番花の満開が例年より早い6月中旬でしたが、6月の曇雨天により気温が低かった影響で、出蕾時期が前作よりも遅く、バラツキが見られる園地もあります。

そのため、天候や外気温などに応じて、遮光や水管理、葉面散布等を行い、着果数確保や果実肥大に繋げるよう指導を行いました。

## 10 【門川町・美郷町】牛舎暑熱対策状況の確認巡回を実施

22日、門川町と美郷町の生産者各1名を対象に牛舎の暑熱対策状況を確認しました。

現場では暑熱対策のチェックシートを用いて現状と課題を整理しました。ウォーターカップの清掃やカーテンを開放し通風調整するなどの対応は確認できましたが、換気扇にほこりがたまり風量が低下している可能性があります。

生産者は、従来の対策に加え「換気扇の清掃等の身近なメンテナンス」が、暑熱対策に効果的であることに改めて気づきがあった様子でした。

## 11 【日向市】肉用牛繁殖経営体の事業承継に関する専門家相談会の開催

6日、普及センターで、農業者1名、関係者8名が出席し、肉用牛繁殖経営体の事業承継に関する専門家相談会(リモート)を開催しました。

相談者(農業者)と関係者は、6月に実施した税務研修を受講しており、その学びをベースに専門家から具体的な説明を受けたことで、相談者の理解も深まり、安心して事業承継に向けた準備を進められる見通しとなりました。

今後も関係者と連携し、経営体の課題解決に向けて寄り添った支援を続けていきます。

## 2 地域課題一覧に関する普及活動

### 1 【日向市】農福連携によるへべす収穫現地検討会を実施

17日に日向市東郷の法人のへべす園地で、日向市内の福祉事業所2か所と関係者の計7名で農福連携によるへべす収穫の現地検討会を実施しました。

法人では、3年前に定植した2.5haが本格的な収穫時期を迎え、雇用人材が必要となることから、今回、農福連携による収穫作業を検討しました。

検討の結果、加工向けの収穫のみの作業であることから対応可能と判断し、9月中旬から10月上旬まで、2か所の福祉事業所が実施する予定となりました。



【農福連携現地検討会】



## 2 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピー種子冷蔵講習会が開催

10日、JA西郷支店で生産者8名と関係者4名が参加し、スイートピーの播種前の種子冷蔵処理作業について講習会が開催されました。

まず普及センターから、種子冷蔵に伴う硫酸処理の手順や冷蔵処理の温度管理や期間等について指導を行いました。

普及センターで行った1回目の発芽試験で発芽率が低かった品種等について、2回目の発芽試験により、適切な硫酸処理濃度等についての情報を周知する旨説明しました。

JAからは、今作のマルチ資材や来作の種子注文書について説明がありました。また、今後の種子処理作業工程について、各戸のスケジュールの調整・確認を行いました。



【スイートピー種子冷蔵講習会】

## 3 【美郷町】令和7年度美郷町栗部会総会が開催

8日、西郷ニューホープセンターで、生産者44名、関係者13名が出席し、美郷町栗部会総会が開催されました。

活動内容や収支について、実績・計画の協議のほか、産地戦略ビジョンにかかる活動進捗状況と今後の計画について説明がなされ、承認を得ました。

総会後に普及センターから今年産の栗の着きゅう状況、病害虫の発生についての要因と対策を気象状況等を交えて説明しました。また、昨年度実施したドローン防除試験の結果報告では、初めて聞く生産者もあり、関心が示されました。



【栗部会総会】

## 4 【管外】くり生産者全体研修会に管内の生産者が参加

22日、JAえびの市地区本部管内で、県果樹振興協議会くり部会主催の生産者全体研修会が開催されました。

本研修会は、中山間地における貴重な収入源であるくり経営の安定と中山間地の活性化を目指し、意思統一と生産力の強化を目的として、県内のくり生産者と関係者約100名が参加し、当管内からは8名の生産者が参加しました。

現地検討会では、昨年12月に地域別に行った樹の剪定後の枝の伸長・着きゅう状況を確認し、生育状況も含め活発な意見交換が行われました。

令和9年7月には、えびの市で「全国くり研究大会」が開催されるため、県産くりのPRを含め、準備を進めています。



【くり生産者研修会】

## 5 【美郷町・諸塚村】ほおずき栽培講習会が開催

7日、JA西郷支店で生産者7名と関係者7名が参加し、ほおずきの栽培講習会が開催されました。

まず、普及センターからエスレル散布講習を実施し、色づけ前の病害虫防除や遮光管理、エスレル処理上の注意点等について指導しました。

次いで、JAから、8月出荷計画の確認と生産者の規格別出荷本数の調査について説明が行われました。

生産者からは、エスレル処理時の摘葉に関する質問が寄せられました。



【ほおずき栽培講習会】

## 6 【日向市・美郷町】シキミ部会合同役員会の開催

15日、JA日向地区本部シキミ部会役員11名、関係者10名が出席し、シキミ部会合同役員会が開催されました。

役員会では、初の試みとなる冷蔵輸送によるお盆出荷に向けて、市場からの注文数量と支部毎の出荷配分の確認が行われました。各支部とも、概ね計画通りの出荷見込みとすることで、各支部長と調整が行われました。

役員会後の振興対策班会では、昨年から取り組む担い手対策として、各支部で承継の意向確認の実施や、販売対策として価格転嫁に向けた生産原価計算の提案などが行われ、生産者と関係者で情報の共有が図られました。



【シキミ出荷調整協議】

## 7 【日向市・諸塚村・美郷町】ほおずきの8月出荷目揃え会が開催

24日、JA西郷支店で生産者11名と関係者8名が参加し、ほおずきの8月出荷目揃え会が開催されました。

まず、JAから、8月出荷の販売計画や出荷規格の目揃えが行われました。等級や実の数など確認しながら、生産者間で規格の統一への認識を高めました。

普及センターからは、実生苗の利用などウイルス対策への注意喚起や残渣の処理、熱中症対策について指導を行いました。

例年に比べて4月以降の天候不順により管理の難しい側面もありましたが、質の良いほおずきの出荷を目指していきます。



【ほおずきの出荷目揃え会】

## 8 【椎葉村】夏秋ミニトマト全戸巡回で高温期の管理を確認

21日と22日に、村・JAと合同で、夏秋ミニトマト生産者21名の園地を巡回し、高温対策の実施状況と直近の病虫害被害の確認、栽培管理指導を行いました。

①日中遮光の実施、②少量多回数かん水、③液肥ECを高めに設定する、④液肥・葉面散布の回数増など、生産者は各自の栽培方式に合わせて夏季の草勢低下を軽減するための先手を打った栽培管理を行っていました。

また、夏秋時に増加する害虫に対しても、適宜対応している状況を確認しました。



【夏季のミニトマト  
管理状況の確認】

## 9 【椎葉村】ほうれんそう専門部交流会

27日、椎葉村矢立集出荷施設で椎葉村園芸部会ほうれんそう専門部員17名と関係者4名で、交流会を行いました。

生産者から年度前半の作付状況の振り返り報告が行われ、幼苗期の高温対応や、園地内の土壌水分管理、過湿や病害対策について活発な意見交換が行われました。特に、梅雨明け前後の土壌水分管理に最も苦慮されていることが伺えました。

また、終了後の交流会では家族ぐるみで近況を語り合うなど、部会員同士のコミュニケーションを図る良い機会となりました。